

函館市路面電車整備推進協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

概要

函館市の電車事業は利用者の減少による厳しい経営状況に対処するため「函館市交通事業経営計画」を策定し、電車事業の経営の健全化、利用者の利便性の向上等の取組みを実施してきたところである。

しかし、現状においても利用者の減少が続いており、施設の改良にかかる財源確保が課題となっている。

公共交通は日常生活における市民のモビリティ(移動性)を支えるうえで重要な都市施設であることから、地域公共交通確保維持改善事業の活用により、施設等の改善改良を図り軌道事業の活性化を推進する。

函館市市生活交通ネットワーク計画の目標

○LRT整備を行うことで、570万人(年間利用者数)の利便性・快適性を向上させる。

(主な整備内容)

- ・利用者の利便性・安全性に配慮した車両の導入
- ・駐車場のバリアフリー化
- ・軌道等の施設改良による安全性、快適性の向上 等

平成24年度事業概要

○制振軌道の整備

・中央病院前～五稜郭公園前間235m、杉並町～柏木町間165mのレールの側面にゴム製のパッキン材を装着させることで、制振性を高める軌道構造に改良する。また、杉並町～柏木町間165mについては重軌条化も行う。

地域公共交通の現況

- ・函館市電(停留場数:26)
- ・JR函館線(函館駅、五稜郭駅、桔梗駅)
- ・函館バス(株)(市内200路線)

函館市路面電車整備推進協議会開催状況

平成25年3月26日 平成24年度第1回協議会を開催

(議題)

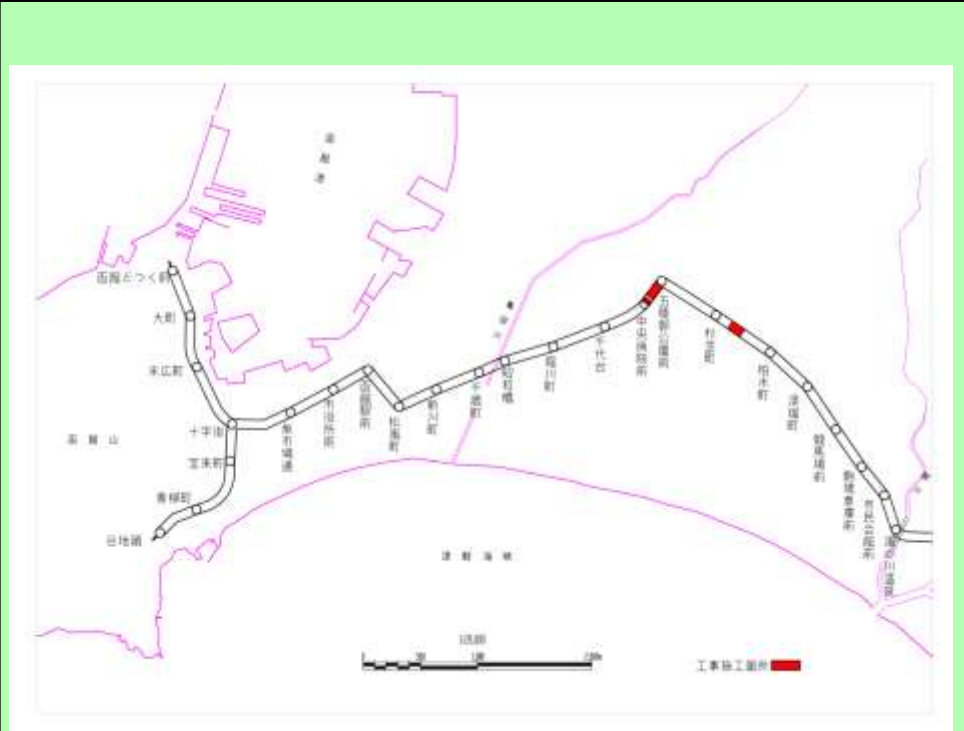
- ・平成24年度 函館市LRT整備計画 実績報告
- ・平成25年度 函館市LRT整備計画 実施計画

平成24年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

- ・平成17年度:制振軌道の整備 延長71m
- ・平成18年度:低床式車両の導入 1編成
- ・平成19年度:停留施設の整備 2箇所 , 制振軌道の整備 延長150m
- ・平成20年度:停留施設の整備 2箇所 , 制振軌道の整備 延長150m
- ・平成21年度:低床式車両の導入 1編成 , 制震軌道の整備 延長155m
- ・平成22年度:制振軌道の整備 延長200m
- ・平成23年度:制振軌道の整備 延長400m

2) 工事施工箇所



3) 事業実施の適切性

計画どおり事業は適切に実施された。

4) 目標・効果達成状況

工事施工区間の年間利用者230万人の利便性の向上が図れた。

5) 事業の今後の改善点

なし

6) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

引き続き、レールや舗装等の経年劣化の状況を調査し、計画的に実施すること